

原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会 2020年総会

市民シンポジウム

思いやり予算を横須賀で考える

ゲスト：リラン・バクレーさん

映画監督（「ザ・思いやり」シリーズ）

12月13日(日)

ヴェルクよこすか 6階 ホール

京急横須賀中央駅から徒歩 10分

13時30分 開会（開場 13時）



参加費 500円 <先着 100名>

★当日はネット中継も実施。→https://twitcasting.tv/peacemove_suka/
(検索「ピースムーブ・ヨコスカ」で)

開催時間終了後は、同ページの記録映像としてご覧になれます。

★感染症予防対策のため、マスク着用など皆様のご協力をお願いいたします。

「米軍が日本に駐留するための経費負担を軽減しよう」という意図のもとにはじまった「思いやり予算」。今年は5年に一回の予算見直しの時期です。

2017年のトランプ政権発足以降、米国は日本の予算増加を求めています。

本年の年次総会では、この問題の現場である横須賀で、現況を報告します。

ゲストは、映画「ザ・思いやり」のバクレー監督。当会の共同代表・呉東正彦弁護士から原子力空母母港化以降の横須賀基地の現状も報告します。ぜひご参加下さい。



<原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会>

〒238-0008 神奈川県横須賀市大滝町1-26 清水ビル3階

横須賀市民法律事務所内 TEL046-827-2713 FAX046-827-2731 <https://cvn.jpn.org/>

★開催当日のお問い合わせは、090-4835-6681迄